



横浜研修センター 横浜クリニック 地域医療連携室レター

令和4年12月
第31号

神奈川歯科大学附属横浜研修センター・横浜クリニック地域医療連携室(045-313-5047)

院長挨拶

院長 児玉 利朗



日頃より横浜クリニックの運営にご協力いただき心より感謝いたしております。令和2年より世界的に感染拡大したCOVID19感染症は、本年度で3年目となり6～8波の感染症拡大に伴い、日々翻弄された1年でございました。当院では徹底した院内感染防止対策により、患者様に安心・安全な医療環境を提供してまいりました。本年度は難治性腹痛・便秘異常外来や訪問歯科診療の充実に加え、新規内視鏡システムの導入を実施し、来年に向けて医科用CTの新規導入を予定しております。これによりなお一層地域医療への貢献を目指す所存でございます。また、デジタルデンティストリーの推進を行い、社会情勢に応じたクリニックの診療体制の構築を実施してまいりました。今後オミクロン株の感染状況を見据えながら、徹底した院内感染防止対策を継続し、さらなる飛躍の年として地域連携医療に貢献すべくスタッフ一同邁進いたす所存でございます。

開設20周年記念懇親会のご報告

11月4日(金)に開設20周年記念懇親会を開催いたしました。未曾有の災禍の中、少なからず不安が残る時期での開催となりましたが、多数の皆様のご列席をいただきありがとうございました。盛況のなか、なごやかな雰囲気にて会を無事行うことができましたことを感謝申し上げます。今後も神奈川歯科大学附属横浜研修センター・横浜クリニックをよろしくお願いたします。



開設20周年記念懇親会 式次第

令和4年11月4日(金)

1. 理事長挨拶 … 学校法人 神奈川歯科大学理事長 鹿島 勇
2. 院長挨拶 … 院長兼センター長 児玉 利朗
3. 花束贈呈 … 学校法人 神奈川歯科大学特任教授
第65代横綱 貴乃花 花田 光司 様
4. 来賓挨拶 … 公益社団法人 神奈川県歯科医師会
副会長 守屋 義雄 先生
神奈川歯科大学同窓会
会長 大館 満 先生
5. 乾杯 … 神奈川歯科大学同窓会 神奈川県支部
支部長 金子 守男 先生
6. 永年勤続表彰 … 勤続20年教職員表彰/記念品贈呈
※交流タイム (スクリーンにて各科・部門紹介を致します)
7. 閉会の辞 … 副院長兼副センター長
(地域連携担当) 鎌田 要平
8. 写真撮影

◆今号の内容◆

1. 院長 年末のご挨拶
開設20周年記念懇親会
ご報告・歯科訪問診療
2. 各診療科 年末のご挨拶
3. 口腔外科新任挨拶
眼科のご紹介
セミナーのご報告とご案内
4. 内科(一般内科)からの
お知らせ
セミナー・市民公開講座
地域医療連携室より

訪問歯科診療のご案内

当院では歯科医院への通院困難な方について訪問診療を行っています。

- ◆対象者 神奈川区及び近隣区に在住の方、以前に当クリニックに通院歴のある方など
- ◆費用 治療費については医療保険/介護保険適用 [交通費については一部負担金あり]
- ◆訪問日 火曜・金曜日の午前中

※ご依頼・ご相談等ございましたらご連絡ください。

電話 045-313-0007 (代表) / FAX 045-313-0027

E-mail: yc.houmonshika@kdu.ac.jp (訪問歯科専用)



各診療科年末のご挨拶

成人

本年は横浜クリニック設立 20 周年という節目の年でございました。臨床、研究を進め、患者様、地域医療機関、取引関係各所の期待に応えつつ、良き医療人を育成するよう絶えず前進する所存です。また今年度より、成人歯科において、ご紹介頂いた患者様の返書をできるだけ早く送るように歯周、補綴、歯内、総合で取り組んで参りました。来年も変わらぬご支援賜りますようお願いするとともに、皆様のご健勝とご発展を祈り年末のご挨拶とさせていただきます。

診療科長 鎌田 要平

口腔外科

コロナ禍が続いておりますが緊急入院以外の機能は正常に復帰しております。入院を必要とする患者様には PCR 検査等コロナ対応をお願いしておりますが、その甲斐あって、院内感染を発生させることなく入院管理ができました。先生方から多くの患者様をご紹介いただきありがとうございます。お陰様で患者数が 2014 年の 2 倍となり開設から 20 年経過した今リニューアルが必要になっております。診療科教授に西久保先生を迎え、来年は歯科口腔外科外来の機能的な改装を進めて参ります。診療内容におきましても先生方の期待に応えられますよう、引き続き安心、安全をモットーに、一層努力して参る所存でございますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。皆様のご健勝を祈念しております。

診療科長 中村 篤

矯正

本年も近隣医療機関、同窓の先生がたより多くの患者様をご紹介いただき、ご支援いただいたこと、心より御礼申し上げます。矯正歯科では引き続き包括歯科診療の一端を担い、先進治療の提供に邁進する所存です。平素よりご指導ご協力いただいている先生方には変わらぬご支援賜りますようお願い申し上げます。皆様のご健勝と、良い年をお迎えになられるようお願いしております。

診療科長 不島 健持

インプラント

日頃より多くの患者様のご紹介をいただき心より感謝いたしております。当科では、インプラント治療のみならず、残存歯の診査診断を実施し、お口の中全体を包括的に診療することを第一にしております。治療後は治療効果とお口の健康を維持する観点から、メンテナンス(SPT)を積極的に実施しております。また、IOS (イントラオーラルスキャナー) による上部構造の作製を始めました。今後とも先進医療に貢献できるよう尽力する所存でございます。引き続きご支援ご指導お願い申し上げます。皆様方のご多幸をお祈りしながら年末のご挨拶いたします。

診療科長 児玉 利朗

小児障がい

今年も関係医療機関、近隣、同窓の先生方から変わらぬご支援を賜りありがとうございます。コロナ禍のなか、患者様には入院前の PCR 検査など、たくさんのご協力をいただきました。今後も感染対策を十分に行いながら成長発育期にある子どもや障害のある方々に、安全で良好な歯科治療を提供できるよう、スタッフ一同、精一杯努力していく所存です。来年度も宜しくお願い致します。

診療科長 高野 知子

麻酔科

日本麻酔科学会認定病院として、最新の麻酔科学の知識と技術を提供することを目標に、常に謙虚な姿勢で安全を第一に取り組んでおります。また大学の医療機関として、近隣医療機関、同窓生の先生方の高い信頼を得られように改革を推進したいと思っております。

診療科長 有坂 博史

眼科

なかなかコロナの終息が見えない中、当眼科では、感染症対策を講じながら、大きな混乱もなく診療することができました。某テレビで斜視に関する番組(最終回でした)が放映され、その取材に当眼科も協力させていただきましたが、その後さらに斜視の患者さんが増えてきました。当科では、手術はこの斜視と白内障に対し行っております。また、従来からの専門である神経眼科を含め、その他の専門外来もその分野のスペシャリストをお招きして開設しております(詳しくは診療科案内をご覧ください)。今後も患者さんの眼の健康のために、スタッフ一同、精進してまいります。

診療科長 市邊 義章

内科

今後はウイズ・アフターコロナを日常のものとして受け入れて、新興・再興感染症対策は当たり前のこととして世界中が対応していくものと考えます。内科では、今年の 8 月に AI 診断機能付き内視鏡、年始からは最先端超高性能 320 列マルチスライス CT など最新の医療機器を取り揃えて、健診や人間ドックを行っています。日常の内科診療から、少し気になっていたれども、コロナ禍で医療機関へ足が遠のいていたかたにも、安心して受診できるように感染予防対策をしています。来年度も、どうぞよろしくお願い致します。

診療科長 栗橋 健夫

いんこう科

COVID-19 がまだ猛威を振るう中、スタッフ、患者様に協力いただき安全な診療を行うことができました。横浜市立大学から派遣された非常勤医師と連携し毎日終日外来診療をおこなっております。耳鼻科症状にお困りの患者様がいましたら是非ご紹介いただくと幸いです。今後も感染対策を十分に行いながら安全な医療を提供できるよう、スタッフ一丸となって尽力してまいります。来年度も宜しくお願い致します。

診療科長 澤熊 香衣

歯科口腔外科 診療科教授 西久保 周一 (にしくぼ しゅういち)



10月より横浜クリニック歯科口腔外科に赴任致しました。手術とゴルフが大好きな50歳です。私は、神奈川歯科大学を1997年に卒業(28回生)し、その後開業医にて歯周病治療の基礎的なトレーニングを受けた後、2000年に広島大学大学院(第2保存科(歯周病、歯内療法))に入学し、口腔細菌学にて学位を取得致しました。多くの先輩方の影響を受け、2004年より東京歯科大学市川総合病院歯科口腔外科(オーラルメディスン・口腔外科学講座)の門を叩き、口腔外科の道に足を踏み入れました。その後は2012年より亀田総合病院歯科口腔外科にて、口腔がん治療に専念しておりました。

2018年より日本大学歯学部口腔外科学第1講座にて恩師の外木守雄教授のご指導のもと、顎変形症、睡眠外科手術を専門に在籍期間中で約400件以上の手術を行なっております。今後、当クリニック歯科口腔外科では、顎変形症、睡眠外科手術を基軸に口腔外科領域の様々な疾患に対応できる地域に根差した利用しやすい口腔外科を目指して参ります。是非とも皆様には忌憚ないご意見を頂き、ご利用頂ければ幸いです。今後とも宜しくご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

眼科 一般・各種専門外来のご紹介

当クリニック眼科は2020年10月から常勤2診体制となっています。2022年10月からは、櫻井藍子先生に代わり、北里大学から池内梨絵先生が着任いたしました。

当科にはいくつかの専門外来があります。まず当眼科開設当初から多くの患者さんをご紹介いただいている「神経眼科外来」。斜視、眼球運動障害、また視神経症や原因不明の視力低下の精査など、多くの患者さんをご紹介いただいております。

斜視の患者さんは、国際医療福祉大学熱海病院の後関利明先生による「斜視専門外来」にて診断し、適応があれば手術を行っています(基本、局所麻酔での手術。小児、全麻での手術は国際医療大学熱海病院、または北里大で施行)。連日、後関先生あてに、県外を含め多くの患者さんがご紹介受診されております。

白内障は北里大学白内障班のリーダーである飯田嘉彦先生に「白内障専門外来、手術」として毎週月曜日午後に診察、執刀をお願いしております。患者さん個々に最適なレンズをいつも的確に選択いただき、術後の経過はもちろん、患者さんの満足度も非常に高い手術を行っていただいております。また、山王病院アイセンター長(元北里大学眼科主任教授)の清水公也先生には不定期ですが、難治症例の白内障手術を行っていただいております。

土曜隔週で元当眼科科長の原直人先生による「眼瞼けいれん・ボツリヌス外来」を開設しております。頭痛や羞明など一般眼科では対応しきれない患者さんが多く受診され、生活指導をはじめ、遮光眼鏡など原先生の豊富な経験と経歴をもとに、診断、治療をしていただいております。

さらに毎週金曜の午前中、元東京大学眼科主任教授でいらした新家眞先生に「緑内障特殊専門外来」をご担当いただいております(この特殊外来は完全予約制となっております。詳しくはHPまたはお電話にてお問い合わせください)。

その他、当クリニックでは施行していない手術、治療(穿孔性外傷、緑内障、網膜剥離など網膜硝子体疾患、眼瞼、涙道疾患等)に関しましては近隣の専門施設にご紹介させていただいております。近隣施設に先生方には日頃から大変感謝しております。この場をお借りしてお礼申し上げます。

今後も、当クリニックでは、なぜその症状が出るのか? 診断は何か? 患者さんにとって最適な治療とは何か、を常に考え、スタッフ一丸となって診療させていただきます。



2022年 眼科 診療科長 市邊 義章

セミナーのご報告と予定

※セミナー詳細につきましては当院HPをご覧ください。

2022年度4月~12月の各セミナーについては終了いたしました。

●歯科医師のための内科学

- 2023/2/2 (木) 膠原病と精神疾患~ミニマムポイント
- 2023/3/23 (木) 呼吸器疾患~感染症か喘息か、どう鑑別する?

これから予定されている

●矯正オープンサテライトセミナー

- 2023/1/12 (木) 成長期における顎整形的アプローチ
- 2023/2/9 (木) 矯正用インプラントによる固定源

セミナー一覧

●インプラントオープンサテライトセミナー

- 2023/1/19 (木) サイナスエレベーション、サイナスリフト
- 2023/2/16 (木) インプラント周囲のプラスチックサージェリー
- 2023/3/16 (木) SPTの考え方とインプラント周囲炎への対応

～ウイズ・アフター コロナの健康管理と予防医学は？

新型コロナウイルス感染症対策を継続しての生活が3年間続いています。少しずつその出口と今後の健康管理の方向が見えてきています。アフターコロナ後も温暖化や地球規模での環境破壊の影響で、新型インフルエンザやマラリアなどの新興感染症、再興感染症が3～5年毎にやって来ると考えておく必要があります。そんな中で人生100年時代、70代は現役世代として活躍するために加齢による高血圧や脂質異常症、糖尿病などの慢性疾患を見逃さず、予防や初期に治療開始していくことが重要です。当科は総合内科を中心に、消化器内科、循環器内科、糖尿病内科、認知障外来などの専門外来から構成されています。この症状は何科にかかっているのかわからない方や健診や人間ドックで異常を指摘されて心配な方などのご相談も積極的にお受けしています。治療が必要な慢性疾患を見逃さずに初期対応をしっかりと開始することが健康寿命を延して、アンチエイジング（老化防止）に繋がります。さらに2023年より当院では、国内最高性能の最先端超高性能CTスキャナー（320列マルチスライスCT撮影装置）キャノン Aquilion One/Natureを導入いたします。高速度で一度にスキャンできる範囲が広がるためこれまでのCTと比べて放射線量を平均で1/6程度まで軽減できるうえに全身の細微な病変や脳や心臓領域の診断に適しています。急性期疾患や日常診療で必要なファオローアップや人間ドックでの活躍が期待できます。JR横浜駅から最も近い立地条件で地域医療に貢献してまいりますので、お気軽に受診していただければ幸いです。

内科 診療科長 栗橋 健夫



Aquilion ONE / NATURE Edition

市民公開講座のご報告

- 2022/6/4（土） 運動習慣ありますか？ 薬に頼らず健康になる秘訣 —サルコペニアから考える運動習慣の重要性—
赤石 雄 先生 神奈川歯科大学附属横浜クリニック 内科/特任講師 【インストラクター講師】 Kaikawa 先生
- 2022/9/10～24 サギングアイ症候群を知っていますか？ しつこい目のぼやけ 原因はなに？
視能訓練士 君島 真純 さん 神奈川歯科大学附属横浜クリニック 眼科
- 2022/10/4～17 知っておきたい不整脈との向き合い方
堤 勝彦 先生 神奈川歯科大学附属横浜クリニック 循環器内科
- 2022/11/12（土） インプラント治療 あれこれ！
児玉 利朗 先生 神奈川歯科大学附属横浜クリニック院長 インプラント科/診療科長

※全講座
終了いたしました。

※9月及び10月の講座は感染状況を鑑みて“オンデマンド配信”とさせていただきます。

地域医療連携室から年末のご挨拶

今年も残すところ数日になりました。一年を振り返ってみると、全世界共通で気持ちが沈む出来事が多かったように思えます。そのような中でも、冬季五輪やサッカーワールドカップなどのスポーツには一縷の希望を見出せたのではないのでしょうか。人間ドック及び健診の状況は、人数こそは昨年より減少しておりますが、収益については若干の増加となっているという事は受診者様一人一人の健康意識が高まったからかもしれません。来年は卯年🐰“ピョンと飛躍”の明るい一年になるように祈念いたします。最後までお読みいただきありがとうございました。

神奈川歯科大学附属横浜研修センター・横浜クリニック地域医療連携室

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 3-31-6

TEL : 045-313-5047(地域医療連携室直通) FAX : 045-548-8069

Mail: chiiki-irenkei@kdu.ac.jp URL: http://www.hama.kdu.ac.jp

